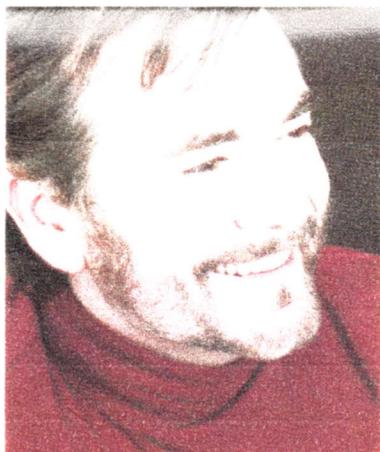


主催：  蝶々夫人の街・ながさき

日伊文化交流 新春コンサート

2013年1月17日(木) 開場 18:00
開演 18:30

長崎市民会館 文化ホール



ピアノ スティーブン・ローチ
(元ローマ国立歌劇場ピアニスト)

曲目

「蝶々夫人」ファンタジー
「魔笛」から 夜の女王のアリア
「ラプソディー イン ブルー」
「イタリアの歌」
サンタルチア
フニクリフニクラ
オーソレミオ 他

指定席 ¥2,500
自由席 ¥1,500
(前売り ¥1,000)
学生 ¥500
(高校生以下)



ソプラノ 尼崎裕子



ソプラノ 林雅美



ピアノ 後藤美樹



長崎アカデミー男声合唱団

蝶々夫人の街・ながさきイタリア訪問合唱団
2012年6月9日 札幌市 聖アントニオ教会

後援:

長崎県／長崎県教育委員会／長崎市／長崎市教育委員会／長崎国際観光コンベンション協会／
長崎新聞社／読売新聞社／毎日新聞社／西日本新聞社／朝日新聞社／NHK 長崎放送局／
NBC 長崎放送／KTN テレビ長崎／NCC 長崎文化放送／NIB長崎国際テレビ／エフエム長崎／
長崎ケーブルメディア／長崎県音楽連盟

チケット販売

- ・ 浜屋プレイガイド
 - ・ 絃洋会楽器店 (浜町)
 - ・ くさの書店 (西友道ノ尾店)
 - ・ 事務局申込み (株)ヤマックス内
- 電話：095-846-7777
FAX：095-846-7242

主催：  蝶々夫人の街・ながさき

日伊文化交流 新春コンサート プログラム



2013年1月17日(木)

開場 18:00 開演 18:30

長崎市民会館文化ホール

蝶々夫人の街・ながさきイタリア訪問合唱団 2012年6月9日 ルネサスコロ 聖アントニオ教会

後援：長崎県／長崎県教育委員会／長崎市／長崎市教育委員会／長崎国際観光コンベンション協会／長崎新聞社／読売新聞社／
毎日新聞社／西日本新聞社／朝日新聞社／NHK長崎放送局／NBC長崎放送／KTNテレビ長崎／NCC長崎文化放送／NIB長崎国際テレビ／
エフエム長崎／長崎ケーブルメディア／長崎県音楽連盟／長崎日伊協会



ごあいさつ

蝶々夫人の街・ながさき
会長 末光 進

本日の演奏者は、昨年6月に当会の主催で企画したイタリア演奏旅行に出向いたメンバーが主体です。ローマに近いオルテスカーロの聖アントニオ教会の演奏会は、地域の人たちから予想を上回る歓迎を受けました。

かの地における演奏プログラムは、長崎とイタリアをむすぶ物語であるオペラ蝶々夫人や、昔から多くの人々に親しまれている日本とイタリアの歌を披露しました。

この演奏旅行には、長年お付き合いがあったイタリアの関係者が心のこもった支援をして下さいました。そのおひとりが、元ローマ国立歌劇場専属ピアニストのスチーブン・ローチ氏でした。今日は、その公私の別なく尽力していただいたS・ローチ氏をお迎えして開くものです。

この演奏会が、これから長崎とイタリアの交流を深める始まりになることを期待しています。ここにお集まりの皆さんと共に、長崎に縁のあるオペラ蝶々夫人に深く親しむ機会を盛んにして、日伊の人と文化の交流と長崎の音楽文化振興に貢献する気持を高める切っ掛けにしたいと思います。

長崎市のグラバー園には、オペラ蝶々夫人の作曲家プッチーニの像も立っています。この曲に因んだこの地の環境や意識が、イタリアと長崎の間に存在していると思います。当会の会員は、活動の趣旨に賛同して参集した有志の音楽家や一般市民です。長崎の音楽関係のさまざまな活動をサポートし、協力して音楽文化の街を作るために少しでも貢献したいと願っています。





プログラム

- | | | | |
|---------------------|--|-------------------------------------|-------------------------|
| イタリアのうた | 長崎アカデミー男性合唱団 | 指揮
ピアノ | 高林 弘
S・ローチ |
| | ・愛の橋 バッサーノ
・山の大將
・サンタ ルチア
・フニクリ フニクラ
・カタリ カタリ
・私の太陽 | | |
| グローリア ニ長調 RV.589 より | 第三曲 我らは主をたたえ | (ヴィヴァルディ作曲)
ソプラノ
ソプラノ
ピアノ | 尼崎 裕子
林 雅美
S・ローチ |
| オペラ | | | |
| | 「カプレーティ家とモンテッキ家」より
ああ、いくたびか | (ベッリーニ作曲)
ソプラノ | 林 雅美 |
| | 「魔笛」より
復讐の炎は地獄のように我が心に燃え | (モーツァルト作曲)
ソプラノ | 林 雅美 |
| | 「マノンレスコー」より
この柔らからレースに包まれて | (プッチーニ作曲)
ソプラノ | 尼崎 裕子 |
| スカラムーシュ (ピアノデュオ) | | (ミヨー作曲)
第一ピアノ
第二ピアノ | S・ローチ
後藤 美樹 |
| | ・ヴィフ
・モデレ
・ブラジルの女 | | |
| | | 休 憩 | |
| オペラ 「蝶々夫人」 ファンタジー | | (プッチーニ作曲)
蝶々さん
第一ピアノ
第二ピアノ | 尼崎 裕子
S・ローチ
後藤 美樹 |
| | ・2幕序曲
ある晴れた日に、他 | | |
| | ・3幕間奏曲
ねんねこ坊や、他 | 朗読 | |
| | ・終曲 | | |
| 日本の歌 | | (三善晃編曲)
長崎アカデミー男性合唱団
第二ピアノ | 後藤 美樹 |
| | 尼崎裕子 林 雅美
第一ピアノ S・ローチ | | |
| | ・雪
・夕焼け小焼け | | |



スティーブン・ローチ ピアニスト



イタリア在住。元ローマ国立歌劇場ピアニスト。サンタ・チェチーリア音楽院卒。マンハッタン音楽院にて音楽学修士を取得。1973年ジェノヴァ国際コンクールで受賞。著名な演奏家の伴奏やローマ歌劇場やRAIでピアニストとしてオーケストラと共演。2004年に東京藝術大学客演教授として来日。本年、同大学に再来の予定。同氏に師事した日本の音楽家は多数おり、国際的にも活動中である。特に長崎では田川和子氏と縁があり、講習会や受講生による演奏会、地元音楽家とのリサイタルなど、貴重な経験の機会を与えている。特に第3回バタフライ国際コンクール in 長崎グランプリ受賞者のキム・ジョンキュ氏とのリサイタルは好演で、多くの長崎の聴衆と共に記憶に新しい。

尼崎裕子 ソプラノ歌手



宇都宮短期大学音楽科首席卒業。2007年渡伊、オペラマスターコース受講。「カルメン」「コシファンツウツテ」「ヘンゼルとグレーテル」「町長夫人」など、多数のオペラでプリマや「第九」のソリストなど主要な役をつとめる。

2009年イタリ長崎にてソロリサイタルを開催。ローマ歌劇場のローチ氏と「モテット」・アリア・日本歌曲を共演。小値賀国際音楽祭などで国内外のアーティストと共演し研鑽を積む。全日本クラシック音楽コンクール連続入賞他、優秀賞、審査員特別賞他多数受賞。

声楽を田川和子、スティーブン・ローチ、小谷彩子各氏に師事。指揮者として音楽祭にて芸術祭賞や県、九州にて金賞受賞など受賞実績多く、活動継続中。ムジカ マルヴァローザ、YUKOSメンバー。活水高校非常勤講師。

現在、蝶々夫人の街ながさき会員。マダムバタフライ国際コンクール in 長崎実行委員。ムジカ チェレステ・合唱団「翔」・岩屋中学校合唱部・OG合唱団指揮者。アカデミー男声合唱団。ふたば女声合唱団、長崎大学ロマンツァ合唱団他ヴォイストレーナ。

県音楽連盟、県新演奏家協会、県オペラ協会会員、

林雅美 ソプラノ歌手



福岡教育大学小学校教員過程音楽科卒。福岡教育大学院音楽教育研究科終了。2007年イタリアにてW. マテウツィ氏夏期講習会参加、同じく2009年・2012年イタリアにてS. ローチ氏のもとで声楽、オペラ研鑽を積む。

2012年6月イタリアのORTE SCALOの聖アトネオ教会にて開催された蝶々夫人の街・ながさき主催のニチイ国際交流音楽会に参加。

第30回長崎県新人発表会奨励賞受賞。田川和子、橋本エリ子、小谷彩子、各氏に師事。



後藤美樹 ピアニスト



第17回長崎県高校音楽コンクール金賞。国立音楽大学ピアノ専攻卒業。Wien 国立音楽大学マスタークラス修了。Poland 国立 Culacuf 管弦楽団をはじめ長崎交響楽団、国立音大オーケストラと共演。ミラノにて Marzagaglia 氏のもとで、研鑽をつむ。Cremona にて、St.Stefano の演奏会に出演、地元紙などで好評を博す。

New York での TSP in NYC に pianist として参加。長崎出島音楽祭にて、アンサンブル部門のディプロマ取得。2010年上海万博にてオペラ蝶々夫人絵巻を演奏、好評を得る。長峰和子、田崎悦子、スティーブンローチ各氏に師事。日本演奏連盟会員。崎陽コーラスクラブ、混声合唱団記念樹指揮者。長崎県オペラ協会ピアニスト。長崎音楽連盟会員。SASEBO 音楽家振興協会会員。

長崎アカデミー男声合唱団 指揮者 高林弘



昭和46年9月、「長崎にも本格的な合唱団を」という声から、中学校の先生を中心に10数名で結成。40年目を迎えた現在、団員も60名を超え、医師、造船マン、銀行員、校長先生、呉服店の主人や若旦那、警察署長、公務員、ビジネスマンなどバラエティーに富んだ職業や経験を持つ20歳代から80歳代までの男性だけの合唱団。

指揮者高林弘氏、ヴォイストレーナー尼崎裕子氏、ピアニスト森愛子氏の指導のもと、メンタルハーモニーをモットーに、定期演奏会や毎年開催される合唱祭、市民音楽祭、ヴォーカルアンサンブルフェスティバル、隔年の男声合唱合同演奏会の他に学校や施設の訪問演奏などの活動を行なう。

平成16年には横浜みなとみらいホールで開催された横浜グリークラブの定期演奏会に招待され、男声合唱組曲「旅」、「長崎ぶらぶら節」、「長崎の鐘」などを演奏。平成18年は創立35周年記念演奏会を「とぎつカナリーホール」で開催、また一昨年(平成20年)7月にはドイツ、ミュンヘンで現地合唱団とのジョイントコンサートや「日本祭り」への出演を果たし、国際親善にも努める。

今年は結成40年目を迎え、「創立40周年記念演奏会」に向けて昨年5月に活動を開始。